

当院にて糖尿病透析予防外来に通院された方へ

糖尿病・代謝内科診療記録を利用した後ろ向き解析研究への協力をお願い

糖尿病・代謝内科では2012年7月より外来通院する糖尿病腎症の患者さん(透析中を除きます)に対し、腎症の進行を防ぐ目的として医師、管理栄養士、看護師からなる糖尿病透析予防診療チームによる生活習慣指導外来を開設しました。外来では医師が作成した指導計画に基づき、管理栄養士と看護師が患者さんのお話を定期的に伺い、全6回コースでデータを見ながら食事や生活習慣の改善に必要なポイントをきめ細かく説明しています。

今回、この外来診療が皆さんにとって有意義なものであるかどうかの評価を行うと同時にさらにより良い外来を目指すためにまず、これまで診療を受けた患者さんのデータを解析致します。対象となるデータは診療録、検査結果、DTR-QOL 質問票の結果など透析予防外来で指導に使われているデータです。この研究は過去の診療記録を用いて行われますので該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析に当たっては個人情報には匿名化させていただき、その保護には十分配慮いたします。当然ながら学会発表などによる結果発表に際しては個人の特定が可能な情報はすべて削除されます。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータ使用に同意されない場合には以下にご連絡をいただきたいと思えます。尚、本研究への参加をお断りになった場合にも将来的に当科における診療・治療の面で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

【対象となる方】

2012年7月5日～2016年12月1日の間に本院糖尿病・代謝内科で糖尿病透析予防外来を受診し、6回の外来を終了された方

2017年2月

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科 鈴木 亮
看護部 大橋優美子

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411 (内線30954)